

人権理事会 プライバシーの権利に関する専門家が発言

2024/03/12

国連人権高等弁務官事務所

プライバシーの権利に関する特別報告者が人権理事会で発言した。内容は以下のとおり。個人が自身の尊厳を守るには、プライバシーの権利を主張できる十分な手段とメカニズムを持つ必要がある。個人が自身のデータが処理の対象になっていることを知り、自身のデータを適切に管理ことができ、侵害された場合には補償・復元・賠償を選択できるように、政府は個人データ保護の権利を保障する制度を構築しなければならない。各国政府に対し、以下の3点を勧告する。①個人データの侵害に対しアクセス可能で適切な救済を提供する法的枠組を更新・採用すること、②デジタル時代におけるプライバシーの権利の効果的実現を強力に保障している、他国のデータ保護・プライバシー法を特定し、その採用を検討すること、③個人が権利の行使や救済の方法を理解するために、個人データ保護・プライバシーに関わる人権情報と教育を促進すること。